



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月3日

上場会社名 株式会社 セキド

上場取引所 東

コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.php>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 弓削 英昭

TEL 03-6300-6335

四半期報告書提出予定日 2022年2月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年3月21日～2021年12月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,548		197		162		155	
2021年3月期第3四半期								

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 141百万円 ( %) 2021年3月期第3四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	76.59	48.33
2021年3月期第3四半期		

(注) 2022年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	4,327	672	15.4	328.88
2021年3月期				

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 667百万円 2021年3月期 百万円

(注) 2022年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月21日～2022年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600		267		223		414		204.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2022年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1 社 (社名) MEDIHEAL JAPAN株式会社、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	2,032,928 株	2021年3月期	2,018,928 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	3,506 株	2021年3月期	3,410 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	2,024,722 株	2021年3月期3Q	1,885,965 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、2021年10月1日付で、連結子会社となるMEDIHEAL JAPAN株式会社を設立したことに伴い、2022年3月期第3四半期より、連結決算へ移行しております。

2. 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、引続きコロナ禍にあり、当業界においても消費動向は依然不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社は、主力の美容事業とファッション事業を中心に、コロナ禍においても確実に計画を達成するため、以下の課題に取り組んでまいりました。

美容事業については、主力ブランドである「MEDIHEAL」の日本総代理店として、順調に売上を伸ばしております。販売店での競争力強化策として、新商品の投入、販促物や専用什器製作などによるブランディング戦略に取り組んだほか、公式ECを7月に立上げ、サブスクリプションモデルを含む顧客管理システムの導入により、さらなる事業展開を図っております。

ファッション事業については、コロナ禍による客数減を踏まえ、顧客とのコミュニケーションに注力し、好調なラグジュアリーブランドや高級時計、宝飾品などの品揃えを充実させ、客単価を高めることで売上高の確保に努めました。また、広域商圈型ショッピングセンターでの催事開催を積極的に実施するとともに、『MEDIHEAL』を中心とした韓国コスメを取り扱う新業態店舗『&choa!』の展開を開始し、10月以降、4つのショッピングセンターに新規店舗の出店を行っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が5,548百万円、営業利益は197百万円、経常利益は162百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は155百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [ファッション事業]

ファッション事業においては、コロナ禍での営業活動が1年以上経過する中、感染予防対策を徹底しつつ、安心・安全でかつご満足いただける店舗運営に努めてまいりました。広域商圈型ショッピングセンターでの催事にも積極的に取り組み、取扱商品については、中・高価格帯商品の品揃えに注力し、客数減をカバーする一方、スマホ・アプリの活用により、引続きコストを抑えた販促強化に取り組んでおります。また、『MEDIHEAL』を中心とした韓国コスメを取り扱う新業態店舗『&choa!』の展開を開始し、10月以降、4つのショッピングセンターに新規店舗の出店を行っております。これらの結果、売上高は3,587百万円、セグメント利益は32百万円となりました。

#### [美容事業]

美容事業においては、お取引の支援の下、事業拡大に伴う増加運転資金を調達し、不足気味であった在庫の確保を進め、売上高の拡大に努めてまいりました。また、7月20日に公式ECサイトを立上げ、サブスクリプションモデル（定期購入メニュー）と顧客管理システムの活用による売上高の拡大に努めております。販促面では、小売店向けにイメージを統一した販促物の導入やMEDIHEAL専用棚の設置によるブランディング戦略を展開した結果、売上高は1,792百万円、セグメント利益は356百万円となりました。

#### [賃貸部門]

賃貸部門においては、売上高は34百万円、セグメント利益は24百万円となりました。

#### [その他]

その他の部門では、感染防止関連機器等の受注が堅調に推移し、売上高は144百万円、セグメント利益は13百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、総資産4,327百万円となりました。

流動資産は3,291百万円となり、主な内訳は、商品1,755百万円、売掛金796百万円であります。固定資産は1,036百万円となり、主な内訳は、土地547百万円、敷金及び保証金323百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は3,655百万円となりました。

流動負債は3,389百万円となり、主な内訳は、短期借入金2,138百万円、支払手形及び買掛金957百万円であります。固定負債は265百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は672百万円となりました。主な内訳は、資本剰余金451百万円、利益剰余金155百万円であります。

これらの結果、自己資本比率は15.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大も一旦は沈静化したものの、新年を迎える頃から感染力の高い変異株が出現し、これまでになく感染急拡大が続き、経済への影響が懸念されております。

このような状況下、当社は、昨年10月から韓国コスメの新業態店舗『&choa!』を4店舗出店し、新しい商圈と顧客の獲得にチャレンジし、一定の成果を上げることができました。今後も機動的に店舗展開を進めてゆく方針であり、当連結会計年度内にも追加の出店を決定しております。

第3四半期連結累計期間の業績と年末・年始商戦の結果も踏まえ、2021年12月28日に公表した2022年3月期通期の連結業績予想を上方修正しております。詳細は、本日、開示しております『2022年3月期通期業績予想の上方修正に関するお知らせ』をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	485,802
売掛金	796,425
商品	1,755,699
その他	280,513
貸倒引当金	△27,018
流動資産合計	3,291,421
固定資産	
有形固定資産	
土地	547,613
その他(純額)	46,625
有形固定資産合計	594,238
無形固定資産	27,258
投資その他の資産	
敷金及び保証金	323,286
その他	91,601
投資その他の資産合計	414,888
固定資産合計	1,036,385
資産合計	4,327,806
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	957,117
短期借入金	2,138,660
1年内返済予定の長期借入金	11,652
リース債務	5,137
未払金	178,974
未払法人税等	9,930
資産除去債務	1,698
その他	86,280
流動負債合計	3,389,451
固定負債	
長期借入金	6,243
退職給付に係る負債	101,965
役員退職慰労引当金	109,800
リース債務	7,137
資産除去債務	3,288
その他	37,221
固定負債合計	265,656
負債合計	3,655,107

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(2021年12月20日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	56,766
資本剰余金	451,164
利益剰余金	155,065
自己株式	△5,003
株主資本合計	657,994
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	3,519
退職給付に係る調整累計額	5,923
その他の包括利益累計額合計	9,442
新株予約権	5,262
純資産合計	672,699
負債純資産合計	4,327,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年12月20日)
売上高	5,548,338
売上原価	4,136,024
売上総利益	1,412,314
販売費及び一般管理費	1,214,970
営業利益	197,343
営業外収益	
受取利息	200
受取配当金	1,737
助成金収入	2,499
その他	441
営業外収益合計	4,878
営業外費用	
支払利息	31,000
株式交付費	3,922
為替差損	1,989
その他	2,920
営業外費用合計	39,833
経常利益	162,389
税金等調整前四半期純利益	162,389
法人税、住民税及び事業税	7,717
法人税等調整額	△394
法人税等合計	7,323
四半期純利益	155,065
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,065



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年12月20日)
四半期純利益	155,065
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△12,842
退職給付に係る調整額	△499
その他の包括利益合計	△13,341
四半期包括利益	141,724
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	141,724

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## (1) 資本金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分

当社は、2021年6月17日開催の第59期定時株主総会において、資本金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関する決議を受けており、2021年7月20日付でその効力が発生しております。

## ①資本金及び利益準備金の額の減少の理由

当社は、現在生じている繰越利益剰余金の欠損額を解消し、財務体質の健全化を図るとともに、今後の機動的かつ柔軟な資本政策に備えるため、会社法第447条第1項及び同法第448条第1項の規定に基づき、資本金及び利益準備金の額を減少し、それぞれその他資本剰余金及び繰越利益剰余金へ振り替えるとともに、会社法第452条の規定に基づき、増加後のその他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補に充当しました。

なお、本件は、発行済株式総数を変更するものではなく、資本金及び利益準備金の額のみ減少するので、株主の所有株式数に影響を与えるものではありません。

また、資本金及び利益準備金の額の減少は、貸借対照表の純資産の部における勘定科目の振替処理に関するものであり、当社の純資産額及び発行済株式総数にも変更はなく、1株当たり純資産額に変更が生じるものではありません。

## ②資本金及び利益準備金の額の減少の内容

## イ. 減少する資本金の額

当社の前事業年度末日の資本金の額3,154,345,233円のうち3,104,345,233円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えております。

## ロ. 減少する利益準備金の額

当社の前事業年度末日の利益準備金の額1,417,674円のうち1,417,674円を減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替えております。

## ハ. 資本金及び利益準備金の額の減少の効力発生日

2021年7月20日

## ③剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、上記の資本金の額の減少に伴い増加するその他資本剰余金の一部を、以下のとおり、繰越利益剰余金に振り替えております。

## イ. 減少する剰余金の項目及び額

その他資本剰余金 3,434,064,201円

## ロ. 増加する剰余金の項目及び額

繰越利益剰余金 3,434,064,201円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2021年3月21日 至2021年12月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッ ション	美容	賃貸部門	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,587,781	1,780,942	34,874	5,403,598	144,740	—	5,548,338
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	11,421	—	11,421	—	△11,421	—
計	3,587,781	1,792,363	34,874	5,415,019	144,740	△11,421	5,548,338
セグメント利益	32,933	356,957	24,981	414,872	13,921	△266,404	162,389

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外商部門等であります。

2. セグメント利益の調整額△266,404千円は、本社経費等の調整額△265,264千円、セグメント間取引消去△1,139千円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (新株予約権の発行)

当社は、2021年12月10日開催の取締役会において、会社法第236条、第238条及び第240条の規定に基づき、当社の取締役、監査役、従業員、顧問及び当社子会社取締役に対し、第10回新株予約権（以下、「本新株予約権」という。）を発行することを決議しております。

なお、本新株予約権は付与対象者に対して公正価格にて有償で発行するものであり、特に有利な条件ではないことから、株主総会の承認を得ることなく実施いたします。

また、本新株予約権は付与対象者に対する報酬としてではなく、各者の個別の投資判断に基づき引受が行われます。

## ① 新株予約権発行の理由

中長期的な当社の企業価値の増大を目指すに当たり、より一層の意欲及び士気を向上させ、当社の結束力をさらに高めることを目的として当社の取締役、監査役、従業員、顧問及び当社子会社取締役に対して有償にて新株予約権を発行するものであります。

## ② 新株予約権の発行概要

(1) 発行日	2021年12月28日
(2) 発行新株予約権数	620個
(3) 発行価額	総額586,520円（新株予約権1個につき946円）
(4) 当該発行による潜在株式数	当社普通株式62,000株（新株予約権1個につき100株）
(5) 行使価額及び行使価額の調整	行使価額は1,030円（本新株予約権の発行決議日の前日（取引が成立していない日を除く）における東京証券取引所市場第二部における当社株式普通取引の終値）とする。なお、本新株予約権の割当日後、当社が株式分割又は株式併合を行う場合、行使価額は調整される。また、当社が当社普通株式につき時価を下回る価額で新株の発行又は自己株式の処分を行う場合（新株予約権の行使に基づく新株の発行及び自己株式の処分並びに株式交換による自己株式の移転の場合を除く。）、行使価額は調整される。
(6) 付与対象者の区分及び人数	当社取締役 3名、当社監査役 3名、当社従業員 10名、当社顧問 2名、当社子会社取締役 2名
(7) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金	本新株予約権の行使により当社普通株式を発行する場合において増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項の規定に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし（計算の結果1円未満の端数が生じる場合はその端数を切り上げた額とする。）、当該資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額を増加する資本準備金の額とする。
(8) 新株予約権の行使の条件	本新株予約権の行使期間開始日から満了日に至るまでの間において、金融商品取引所における当社普通株式の普通取引終値の連続する5日間の平均が一度でも412円を下回った場合、残存する新株予約権のすべてを行使期間満了日までに行使しなければならないものとする。
(9) 本新株予約権の行使期間	2021年12月29日から2031年12月28日までとする。
(10) その他重要な事項	①当社が消滅会社となる合併契約、当社が分割会社となる会社分割についての分割契約若しくは分割計画、又は当社が完全子会社となる株式交換契約若しくは株式移転計画について株主総会の承認（株主総会の承認を要しない場合には取締役会決議）がなされた場合は、当社は、当社取締役会が別途定める日の到来をもって、本新株予約権の全部を無償で取得することができる。 ②当社が整理銘柄となる場合、整理銘柄となった日から上場廃止となるまでの間に、当社は新株予約権の全部を無償で取得することができる。